

基本施策3	暮らしを支える安心快適なまちづくり
目標3	自分たちの安全は自分たちで守れるまちをつくる【安全】
基本戦略6	犯罪をなくし市民を守る

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図							今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0540800	市民	青少年の健全育成と住みよい地域社会づくりに資する。							・青少年の健全育成のためには、学校・地域(家庭)をまきこんだ計画・活動が必要である。学警連携のため小・中・高校生徒指導主事とさぬき警察署、育成センターとの連絡会を開催したが今後の連携推進のためにも複数の開催が必要である。	・育成センターの所管替えについては、事務事業の内容を踏まえ、生涯学習課から学校教育課へ所管替えをして各学校との連携を図るべきである。 ・社会情勢の変動により、各団体間の連絡会議等が増加しているがこういった状況に対応できる人的体制の確立が必要と思われる。	継続する
事業名											
少年育成センター運営事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	運営委員会実施回数	回	2	2							
	運営委員会出席人数	人	25	26	事業費	2,645	2,455				
					特定財源	0	0				
所管課					一般財源	2,645	2,455				
生涯学習課											
	数値化できない成果										
0541000	少年及び市民	児童・生徒の問題行動を早期発見することにより、公共の場での態度・マナーを指導し、非行防止に努める									
事業名											
補導事業 (「こどもSOS」除く)	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	通常補導実施回数	回	350	349							
	特別補導実施回数	回	150	127	事業費	2,560	2,507				
	補導員の研修会実施回数	回	6	6	特定財源	1,020	1,020				
所管課					一般財源	1,540	1,487				
生涯学習課											
	数値化できない成果										
0541100	少年及び市民	青少年の健全育成について、意識の高揚を図る。							・SCNの文字放送や市のホームページ、さぬき市広報誌の活用や関係機関との連携等多様な機会をとらえ広報啓発を実施し、市民の青少年健全育成のための意識の高揚を図っていく必要がある。	あらゆる機会を活用して、市民の青少年健全育成についての意識の高揚に努める。	継続する
事業名											
広報啓発・推進事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績				
	児童・生徒による一日補導員実施回数	回	8	8							
	青少年健全育成の標語募集数	数	465	445	事業費	416	416				
	広報「さぬき」掲載回数	回	12	12	特定財源	120	120				
所管課					一般財源	296	296				
生涯学習課											
	数値化できない成果										

事務事業評価(1次評価)結果表

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
0541400	不登校及び不登校傾向にある児童・生徒とその保護者及び通級生	不登校問題の解決、教室活動への理解と協力を進める。通級生の学校復帰と社会的自立を促す。								
事業名										
教育支援事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)	計画	実績	・通級児童・生徒の状況が怠惰や学業不振等による不登校だけでなく、発達障害を起因とした不登校もみられるようになってきており、学校との連携はもとより、福祉等の関係機関と連携をはかりながら、その子に応じた支援の方法等についてさぐり、学校復帰や自立につなげていきたい。	・通級者数の変動に注視しながら、現行の体制を継続することとする。 ・不登校児童生徒とその保護者や学級担任、適応指導教室スタッフ等が不登校の子どもへの関わり方や支援の方法等について臨床心理士からアドバイスをうけ、学校復帰や自立につなげていきたい。	継続する
	体験活動の実施回数	回	60	37						
	カウンセリング実施回数	回	50	30	事業費	2,290	2,280			
	学校等連携回数	回	100	178	特定財源	0	0			
所管課	少年相談件数	件	30	161	一般財源	2,290	2,280			
生涯学習課										
	数値化できない成果									